



写真はナラ材

町家と呼ばれる庶民の住まいに多用されている椅子は、平安時代の貴族にも好まれていたほど、日本人には馴染みの深い様式です。その古のデザインをモダンにアレンジし、背板に取り入れたのが「PRÔNER」です。

人の背骨のS字ラインをホールドするように削り出された背板は、体に最も無理がかからない「立っている時の姿勢」を再現。また、中央部のスポークに取り入れた8段のラダー（梯子状のデザイン）が背骨を優しく支え、二層の背当りの良さを実現しています。

庶民風の縦格子と貴族風の一枚格子が融合した「PRÔNER」のデザインは、伝統工法に裏付けされた新しい感性と相まって、住まいに新鮮な息吹を与えてくれます。

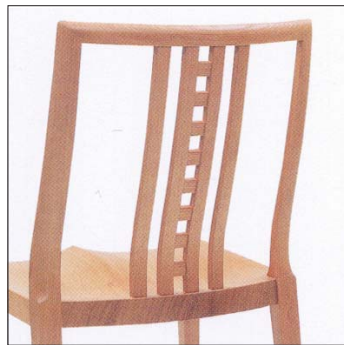
チェア プローネ

CHAIR PRÔNER

DESIGN; SADAO AIDA

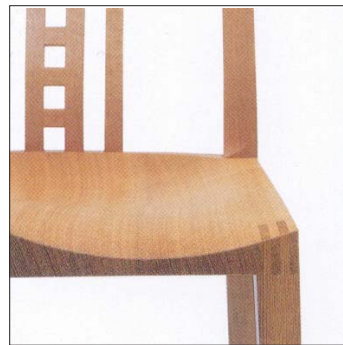


写真はナラ材



家具に表裏を作らない
高度な職人技が、
チェアへの愛着を生む。

笠木と後ろ脚の後ろ面を曲面に削り出すことで、軽快さとともに、前後左右のどの角度から見た場合にも、それぞれ異なる美しさを表現しています。毎日、チェアを使用する人の負担や飽きをどれだけ軽減できるかを突き詰めた造形に、職人の志が感じ取れます。



「見せる」木組みの技、
職人の高い技術力が、
一層の安心感を生む。

2枚ホゾによる板座と前脚の接合部は、職人の高度な木組みの技が見えるようあえて木口面を表に出し、デザインへと昇華させています。しっかりと強固に組まれた構造は粘り強く、釘などの金物に頼ることなく世代を超えて使い込める安心感を与えてくれます。

SIZE : W495 D550 H850 SH420
TYPE SELECT : 柎目 / 板目

● MATERIAL SELECT (選べる7つの無垢材)

